

# 稲作だより

第 8 号  
中干し  
生育調節編

令和3年6月21日発行  
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト  
最上地域本部  
最上総合支庁農業技術普及課  
Tel 29-1329（稲作担当）

**6月の好天で生育は順調に進んでいます！**  
**茎数の確保できた圃場から中干しを開始しましょう！**

いもち病  
に注意

## 1. 生育診断圃の生育調査結果(6月18日現在)

品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉数 枚	葉色 SPAD	品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉数 枚	葉色 SPAD
はえぬき (新庄市泉田)	本年	29.0	328	6.9	39.3	つや姫 (舟形町富田)	本年	40.0	515	8.3	39.2
	前年	32.8	442	7.2	41.2		前年	41.5	519	8.1	42.0
	平年	32.2	363	7.0	40.3		平年	34.9	414	7.6	41.1
	平年比	90	90	-0.1	-1.0		平年比	115	124	+0.7	-1.9
雪若丸 (新庄市泉田)	本年	24.9	369	7.0	43.4	あきたこまち (最上町向町)	本年	30.9	387	8.1	41.8
	前年	29.3	446	7.5	44.8		前年	34.1	413	8.0	43.9
	指標	30.6	416	7.8	41.8		平年	31.2	340	7.4	42.9
	指標比	81	89	-0.8	+1.6		平年比	99	114	+0.7	-1.1

6月は高温・多照がずっと続いており、生育診断圃の調査結果では、葉数の展開が遅れていた圃場でも平年並みの生育に近づいています。**生育が平年以上に進んでいる圃場もあり、圃場ごとに生育を確認し、目標茎数を確保した圃場から速やかに作溝・中干しを開始しましょう。**

## 2. 当面の技術対策

### ① 作溝・中干しの開始の目安となる目標茎数(穂数)

下表を参考に、速やかに作溝・中干しを開始しましょう。

品種	目標茎数	70 株/坪 植の場合	60 株/坪 植の場合
	本/m <sup>2</sup>	本/株	本/株
はえぬき	480	23	26
雪若丸	560	26	31
つや姫	410	19	23
あきたこまち	450~480	21~23	25~26
ひとめぼれ	500	24	27

## 中干しはこんな効果があります

中干しは、地耐力を向上させ収穫作業の効率を向上させるだけでなく、以下のような効果により、品質・収量・食味の向上につながります。

### ○ 窒素吸収のコントロール

窒素吸収を抑制し、無効分げつ（穂にならない分げつ）の発生を抑制します。無効分げつが少なくなることで、1つ1つの茎が充実します。また、窒素吸収のコントロールにより、下位節間の過剰な伸長を防ぎ倒伏の軽減につながります。

### ○ 根の活力が高まる

中干しや、中干しに間断灌水を組み合わせることで、根圏が拡大するとともに根の活力が高まります。登熟を最後まで支えることが可能になります。

## ② 本田での葉いもちが平年より早く確認されています！（県病害虫防除所調査）

予防が目的のコラトップ剤等は、7月上旬まで遅れずに施用しましょう。7月下旬など、発生が多くなってからの施用では、十分な効果を期待できません。

## ③ 斑点米カメムシ類対策

**7/22～25 は草刈強化期間！**

県病害虫防除所の調査では、斑点米カメムシ類の発生は“**やや多い**”状況です。農道・畦畔・法面等の草刈りを徹底し、生息密度の低減を図りましょう。

## ④ 残草対策

6月の好天で雑草も急激に大きくなっており、圃場内の残草が目立ってきています。**残草処理除草剤は、使用時期（移植後〇〇日～ノビエ〇葉期 等）に注意して、早めに使用してください。**

## ⑤ ケイ酸資材の散布

幼穂形成期のケイ酸追肥（穂肥を施用する前の時期に、ケイ酸カリ等で40kg/10a）により、増収が期待できます。その他にも、耐病性の強化や葉身の直立など、収量や品質向上に対する効果も期待できます。気象変動に負けない稲の体づくりのため、ぜひ散布しましょう。

**農薬危害防止運動実施中！（6/1～8/31）農薬の適正使用！**

**STOP！農作業事故！ 農作業はあせらず、きもまず！熱中症にも注意！**

**補植苗が圃場に残っていませんか？ 残っていたら直ちに処分！**